

R5.11.12 第10回 ボランティアフェスタ

私たちはSDGsを推進しています!!



実写版!! 『一人一つの思いやり』
動画撮影風景

令和5年度の事業として、以前作ったボランティア啓発漫画の実写版を制作しました。女子高生が友人を巻き込んでボランティアの楽しさややりがいを感じていく物語です。
ネットワークの運営委員さんや事務局で高校生などの配役に扮し、監督、脚本、撮影、編集、すべて関係者で頑張りました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。
こちらの動画、YouTubeに投稿しています。右のQRコードを読み込んでご覧ください。皆の力作、ぜひぜひ見てくださいね。^^



コロナの時期を経て、安来商工会議所を会場とし4年ぶりの開催となりました。ブース出展9団体、資料展示3団体、活動紹介などの発表を5団体が披露しました。
オープニングをやすぎJrバンドが見事な演奏で飾り、ちいさなボランティアコーナーでは、来場者の皆様からプルタブが20kgも集まりました。ご協力いただきありがとうございました。



特別参加の情報科学高校「遊ぼう学ぼう講座」班の皆さん。日頃の活動発表やドローン操作の体験をさせていただきました。



展示内容をじっくり見入る来場者。写真だとわかりやすくて良いですね



やすぎ女男輝り会による「防災食ってどんなもの？」50人分の五目御飯を作るため、8リットルのお湯を注いでいるところです。皆さん興味津々。

SDGs
えすでいじーず

最近よく耳にするよね...



SDGs (エスディージーズ) とは、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。
2015年の国連サミットにおいて、すべての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。
これらの目標は、世界各国の行政の取り組みだけでは達成は不可能です。企業や地方自治体、個人一人ひとりに至るまで、皆が意識して行動しないと難しいことです。



やすぎボランティア団体ネットワークの加盟団体の活動が、どの目標にひもづいているのか示しました。

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です		

安来市食生活改善推進協議会

大阪健康福祉短期大学安来キャンパス
安来市食生活改善推進協議会
おたがいさままつえ・やすぎ

やすぎ女男輝り会

飯梨川再生ネット
山佐ダム体験交流施設管理組合

やすぎ女男輝り会
安来点訳奉仕団きつつきの会
おたがいさままつえ・やすぎ

飯梨川再生ネット
十神こどもサポーター
安来市食生活改善推進協議会

安来市まちづくり協議会 おたがいさままつえ・やすぎ

飯梨川再生ネット

飯梨川再生ネット
山佐ダム体験交流施設管理組合

NPO法人青少年サポートの会
大阪健康福祉短期大学安来キャンパス
やすぎ女男輝り会・キラ☆キッズ

意外と気がつかないうちに皆がやっているSDGs。一人一人が意識することで目標達成にグーンと近づきますね!

R6.2.4 第11回 ネットワーク交流会

安来中央交流センター、音楽室を会場にネットワーク交流会を開催しました。交流会としては初めて、多文化共生『話してみよう! 聞いてみよう!』をテーマに安来在住の外国籍の方をお招きしていろいろお話を伺いました。まず島根県外国人サポーターとして活動されている野々村千映子さんの講演を聴き、外国の方と仲良く暮らしていくために何ができるのか考えました。
5名の外国籍(アメリカ、カナダ、モンゴル、バングラデシュ)の方の参加があり、文化が違ってそこを理解しようとする気持ち、手助けがしたいと思う気持ちが大切だと思いました。少し勇気が必要ですけどね。



アメリカから来られた方は日本の引き戸にとっても驚いたそうです。こちらは当たり前になっていることが、外国の方から見たら、とても珍しかったり困ることだったりするようです。病院で自分の症状を説明するのも難しく困るそうです。



最後にみんなでハイ、チーズ!!

プルタブを回収しています!

やすぎボランティア団体ネットワークでは、2014年より、北海道のリングプル再生ネットワーク(プルネット事務局)へプルタブを送っています。プルネットは全国の様々な団体から送られたプルタブをリサイクル業者で換金し、協賛業者で車椅子を購入し、プルタブの寄贈者へ提供しています。
ただ、車椅子を得るためには最低でも650kgのプルタブが必要で、なかなか溜まるものではありません。そこでネットワークでは、プルネットの経費(専用袋や運送費など)に充ててもらおうとプルタブを集めて送っています。言うなれば、ボランティアのためのボランティアといったところでしょうか。この考えにご賛同いただける方、どうぞプルタブ回収にご協力ください。安来市役所2階地域振興課窓口までご持参ください。





つなげよう！ボランティアの輪

やすぎ ボランティア団体 ネットワーク

私たちは、安来市内で活動する
ボランティアグループの集まりです。
一緒に安来を元気にしましょう!!

R6.9

【問合せ先】

やすぎボランティア団体ネットワーク
(安来市役所地域振興課内)

事務局 TEL: 0854-23-3067



やすぎボランティア団体 ネットワーク とは ?

市民の皆様へのボランティア情報の提供や団体相互の協力、情報交換の場として2006年1月に設立され、今年度で19年目となりました。

加盟団体を広く市民の皆さまに知っていただくため、またボランティアの啓発、より一層の社会貢献活動の実現のためにやすぎボランティア団体ネットワークは活動しています。

近年は感染症の影響で活動の縮小もありましたが、制約も無くなった今(感染対策は引き続き行います。)、これまで以上の活動をしていきたいと考えています。

ネットワークには、さまざまな分野で活動している団体が加盟しています。まずは団体紹介からご覧ください。

ボランティアってどんな意味??

「volunteer」とは、もともと「志願者」「有志者」という意味を持ち、「自らすすんで」行う姿勢や精神が重要視された言葉です。つまり、誰もが、自分ができるところを自分の意思で周囲と協力しながら無償(有償の場合も有)で行う活動のことです。



NPO法人青少年サポートの会

家でも学習塾でもない、誰でも気軽に来て勉強できるオープンな「勉強のための居場所」、「第三の居場所」になれば良いとの思いで開催しています。

R5年度は青少年(中学卒~40歳未満)の居場所づくり事業を安来市より委託されました。

毎年夏には「森の見た夢コンテスト」も開催しています。

お問合せ ☎ 0854-22-0850 (水曜日)

Mail: yasugi-support@camel.plala.or.jp



キラ☆キッズ

子どもたちや子育て中の人たちが、キラキラ笑顔で毎日過ごせるように人と人とのつながりを大切に活動しています。親同士がつながり、不安や悩みを相談しあえる場所の提供、PTA研修会などで子どもとの関わりを振り返る親学の実施、地域活性化イベントの開催など

お問合せ ☎ 090-4578-8767 山根

★高校生の皆さんと一緒にできる活動があります。



十神子どもサポーター

(旧:わくわく子ども大会)

地域の自然や人とのかかわりを通して、心豊かな感性と、心豊かな子どもを育むための活動しています。中海宍道湖一斉清掃活動、学校支援ボランティア、寺子屋とかみ(十神交流センター事業)の企画、運営

お問合せ ☎ 0854-23-0755 大驛(材子)

Mail: tokami.cs@city.yasugi.shimane.jp

★高校生の皆さんと一緒にできる活動があります。



活動のための保険

ご存知ですか?安来市には『市民活動補償制度』があります。これは市民の皆さんが安心して市民活動やボランティア活動に参加できるよう、活動中の事故に対して一定の水準の補償を行うものです。

ただし、活動を行う団体について事前の登録が必要です。

詳細は安来市土木建設課(TEL: 23-3311)へお問合せいただくか、安来市のHPでご確認ください。

飯梨川再生ネット

飯梨川を中心に河川の自然環境を再生する活動に取り組んでいます。親水広場の整備、水質改善と景観保全のため、河川の雑草木の除去などを行っています。

住民の心身を癒し、子どもの環境教育の場となるよう活動しています。ご要望があれば、学校へ出向いて環境のお話いたします。



善?それとも偽善?

ボランティアを偽善だと思っている方も少なからずあると思います。

けれど、どうでしょう。仮に偽善的な行為であっても、その行いにより困っている人が助かったり、そのことで喜んでくれるひとがひとりでもあったなら、それは立派な善なのではないでしょうか。

きっかけはどうあれ、実際の行為が大事ですね。皆さんはどう思われますか?

安来市まちづくり協議会

市民の皆さんがいいきと元気で暮らせ、安来に住んで良かったと思えるまちづくりを目指し活動しています。

まちづくり勉強会を開催。安来市への提言活動。地域活動マップの更新、まちづくりアンケートの利活用など。

お問合せ ☎ 090-7719-2923 石倉

★高校生の皆さんと一緒にできる活動があります。



やすぎ女男輝らい会

女性男性、性別を問わず、1人1人があらゆる分野で一緒に活躍できる環境づくりを目指しています。災害時の避難所運営ゲーム「HUG」を行うことで女性を視点とした防災啓発活動。「男女共同参画かるた」を通してあらゆる分野での女性参画啓発活動を行っています。



お問合せ ☎ 0854-22-6005 福井

★高校生の皆さんと一緒にできる活動があります。

山佐ダム体験交流施設管理組合

山佐ダム体験交流施設「やまびこ」周辺を利用して様々なイベントを企画し、山佐地区の活性化を目的に活動しています。

キャンプ場祭り、きのこ狩りの集い、グラウンドゴルフ大会(年4回)など

お問合せ ☎ 0854-26-4768

(事務所: 月水金、午前中)

携帯 ☎ 080-5623-9734 (管理組合)



EMで自然と生命を育む会

EM(有用微生物群)の活用を主体に、河川の浄化、生ゴミの堆肥化など、環境、健康、農業への問題解決に取り組む、循環型社会づくりを目的に活動しています。河川の浄化活動、市内小学校プールに活性液の投入や環境学習の講師活動もしています。

お問合せ ☎ 090-4894-7636 藤原

Mail: fujitune@dojyokko.ne.jp



大阪健康福祉短期大学安来キャンパス

(旧: 島根総合福祉専門学校)

介護福祉士国家試験受験資格のための学習や介護福祉の本質を学んでいます。会員相互の親睦交流、学術向上を目的に活動をしています。



お問合せ ☎ 0854-32-4198 石倉
Mail: y.ishikura@kenko-fukushi.ac.jp

★高校生の皆さんと一緒にできる活動があります。

安来市食生活改善推進協議会

交流センターや各種団体と協力し、食のボランティアを推進しています。

男性料理教室、親子クッキング、生活習慣病予防教室などを開催。食に関するお話や調理教室など、ご要望がありましたらお問合せください。



お問合せ ☎ 0854-23-3221

(事務局: 安来市いきいき健康課 和田)

★高校生の皆さんと一緒にできる活動があります。

安来点訳奉仕団きつつきの会

視覚障がい者の生活支援として点訳図書を製作し、読書環境の充実を目的に活動しています。点訳図書の製作、点訳の普及のための講習会の開催、視覚障がい者との交流会にも参加しています。

お問合せ ☎ 0854-22-2578 遠藤

★高校生の皆さんと一緒にできる活動があります。



有償たすけあいシステム

おたがいさま まつえ・やすぎ

誰もが「ありがとう」「どういたしまして」と自然に言える優しいつながりのある社会を目指し活動しています。有償たすけあいシステムを利用したい人、応援したい人を取り持ちます。家事応援、介助応援、育児応援、その他の応援もご相談ください。



お問合せ ☎ 0852-52-6795 (月~金)

電話対応時間 10~16時

いかがでしたか?

ボランティアは特別な知識がなくても、役に立ちたいとか、思いやりの心があればできることです。ネットワークには、様々な分野の団体が加盟し活動しています。高校生の皆さんと活動してみたいという団体もありますよ。気軽にお問合せください。

ネットワーク事務局 TEL: 0854-23-3067

(安来市役所地域振興課内)

